



- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故の原因)
- ペグで地面に固定する。(テントが風で飛ばされ、けがの原因)

- ランタンは電池式以外は使用しない。(不完全燃焼による事故の原因)
- 強風時は、ランタンを吊さない。(落下によるけがの原因)



- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- 付属のハンマーはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。

- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。
- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。



設営・取扱説明書

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



部品構成表 ()は素材

| | | | |
|---|-----------------------------|---|--|
| フライシート ×1 (68Dポリエステルタフタ) | インナーテント ×1 (ポリエステル) ※装箱済 | パネルフレーム【金】 ×2 (7001ジュラルミン) φ8.5mm×278cm (6節) | サブフレーム【金】 ×1 (7001ジュラルミン) φ6.9mm×190cm (9節) |
| キャンピポール ×2 (スチール) φ19mm×180cm (4節) | ペグ ×28 (スチール) | エアポンプ ×1 | ハンマー ×1 (スチール) ※サービス品 |

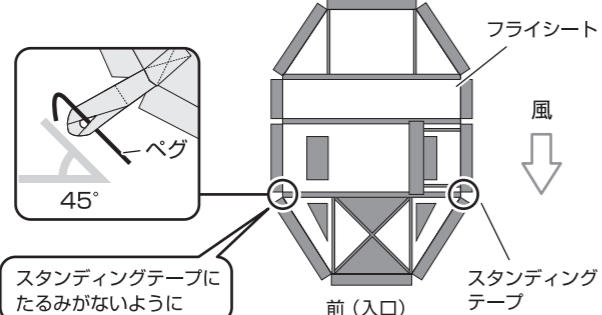
設営方法 ●風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

1 フライシートを広げて、ペグで地面に固定する

ペグは2カ所打ち込む。

Point

- 入口が風下になるようにしてください。
- フライシートはチューブにかからないようにしっかり広げてください。(特に入口部分)

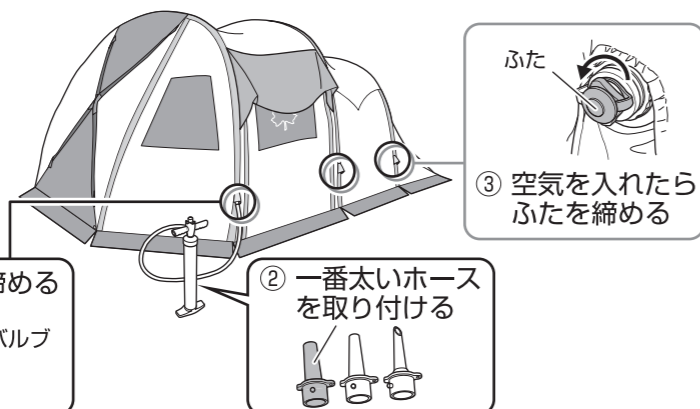


2 エアポンプでチューブに空気を送り込む(3カ所)

- 空気を入れる目安は約40~50回です。
- 「スーシュー」から「シューシュー」という空気が抜ける音が変わったら完了です。

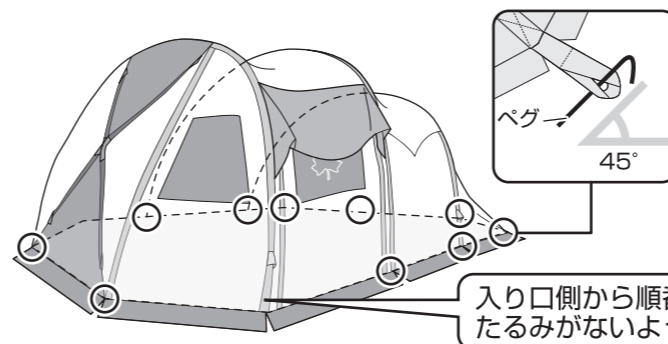
Point

- 一人で設営する場合はチューブが自立するように、チューブのロープをペグで仮固定しながら設営してください。

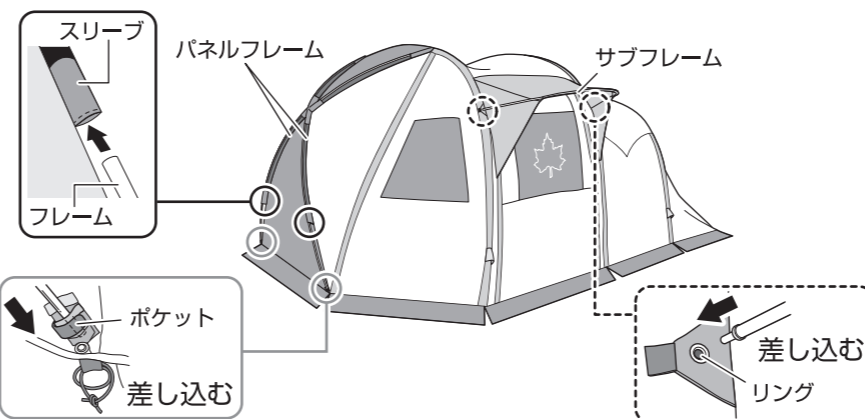


ペグで地面に固定する

ペグは10カ所打ち込む。



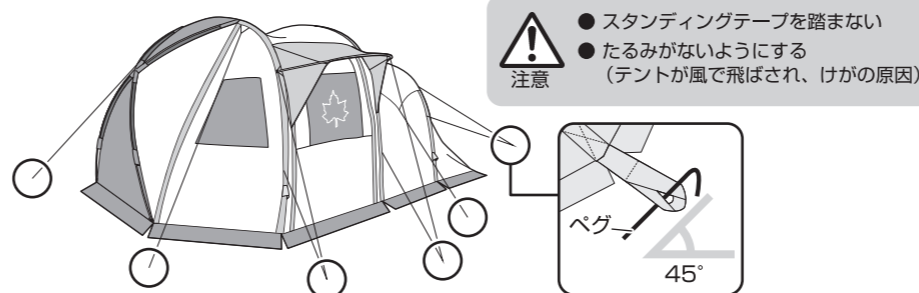
4 パネルフレームとサブフレームをスリーブに押し込む



5 ペグで地面に固定する

ペグは12カ所打ち込む。

※インナーテントの前後にも2カ所ペグを打ち込む箇所があります

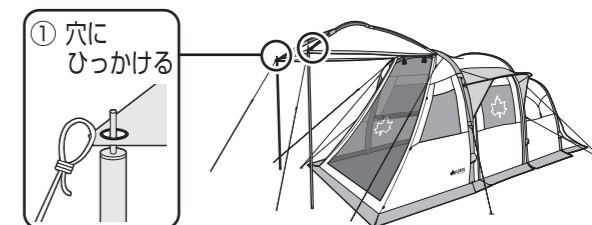


取扱いについて

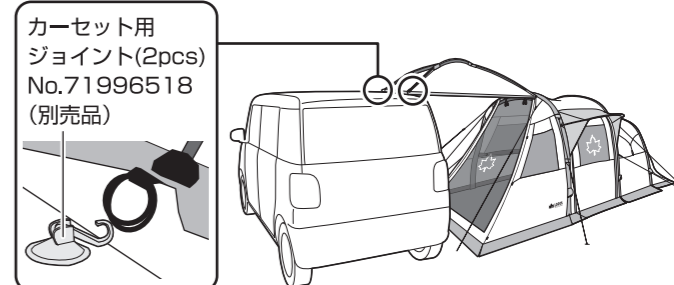
- 【重要】**
チューブカバーのファスナーは開けない。(中のチューブがはみ出て、破損の原因)
●破損していた場合は、お客様専用回線までご連絡ください。

- インナーテントを取り外して、日除けとしてもご使用いただけます。
- 気温の変化などで、チューブがゆるくなったと感じたときは、エアポンプで空気をたしててください。
- インナーテントの間仕切りは取り外すことができます。

■ 入口の固定のしかた 【キャンピポールを追加する場合】



【車と連結する場合】



撤収方法

- ① フレームを外す
- ② バルブをゆるめて空気を抜く(一気にゆるめると大きな音が出ます)
- ③ ペグを抜く
- ④ シートを巻いてチューブ(3カ所)に残った空気を抜く
- ⑤ シートを広げて、収納バッグの幅に合わせて折る
- ⑥ 収納バッグをかぶせる
- ⑦ エアポンプからホースを取り外して、収納バッグに入れる

廃棄するときは、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがって、廃棄してください。

Designed by
LOGOS CORPORATION
発売元:
株式会社 ロゴスコーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

●ホームページ/ www.logos.ne.jp
●全国キャンプ場の空き情報/ www.campjo.com